（臨床研究に関する公開情報）

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

急性白血病患者の終末期ケアの質にコロナ禍が与えた影響の検討

[研究責任者]

江南厚生病院　緩和ケア内科　木原里香

[研究の概要]

白血病患者においては輸血依存性がホスピスケアを受けるための障壁となることが報告されています。また、コロナ禍において病院では面会制限が行われ、自宅で療養される方が増えるなどがん終末期の療養に大きな影響を与えました。米国のがんセンターからコロナ禍では専門的緩和ケアの介入が早くなる、緩和ケア病棟で亡くなる方が増えるといった変化が認められるとの報告があります。急性白血病患者の終末期の療養場所や看取りの場所についての報告は少なく、輸血の必要性やコロナ禍による面会制限により急性白血病患者の終末期の過ごし方にどのような変化が出たのか検討を行います。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

当院及び参加施設で急性白血病と診断され、2018 年 4 月 1 日から 20219 年 3 月 31 日、2021 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日の間に亡くなった患者。

●利用するカルテ情報

死亡時年齢、性別、疾患名、抗がん治療内容、診断日、死亡日、死亡前 30 日間の心肺蘇生の実施、死亡前 30 日間の集中治療室入室、化学療法の最終実施日、同種造血幹細胞移植実施日、死亡前の 30 日間の急性期病棟入院期間、死亡場所、緩和ケア病棟利用の有無と入院期間、専門的緩和ケアの介入の有無と介入開始日、死亡前 30 日間または最終経過観察日前 30 日あるいは緩和ケア病棟入棟 30 日前に施行した輸血の種類と実施日、訪問診療利用の有無等

[研究期間]

実施承認日～2029 年 3 月 31 日

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院　緩和ケア内科　木原里香

電話　0587−51-3333　　FAX　0587−51-3337